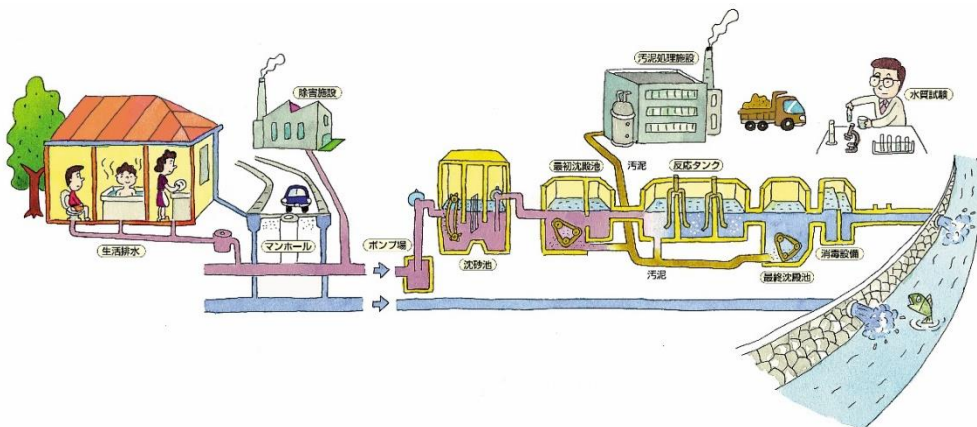


げすいどう 下水道ってなあに？

しょうがっこう ねんせい たろう なつやす まえ かあ ちょうふしやくしょ
小学校4年生の太郎くん。夏休みを前に、お母さんと調布市役所
かい げすいどうか おとすれて ふだん き しょくいん
8階にある下水道課に訪れて、普段気になっていることを職員
そのべ しつもん
園部さんに質問してみました。

たろう
太郎くん：「トイレやお風呂、洗濯などで使った汚れた水は、その後
どこへ行くのかな。」

そのべ わたし つか よご みず ちか げすいどうかん
園部さん：「私たちが使った汚れた水は、地下にある下水道管をと
げすいしゅりじょう はこ みず うみ かわ もと
って下水処理場まで運ばれ、きれいな水にしてから海や川に戻して
いるんだ。」



たろう
太郎くん：「そうなんだ、じゃあ下水道ができる前は、どんな生活を
していたの？」

そのべ 園部さん：「日本では、ずっと昔から、おっしこやうんちなどのふん尿を農作物の肥料として使っていたんだ。だから、ちよくせつ川に流すようなことはしていなかったよ。ふん尿にも等級（最上等品～最下等品まで5段階）がつけられて売られてたらしいよ。」

たろう 太郎くん：「そうなんだ。何がきっかけで下水道はつくられるようになったの？」

そのべ 園部さん：「明治時代になって、東京をはじめとした一部の地域に多くの人が集まり、建物や道路などが、どんどんつくられ都市化が進んでいったんだ。」

そうすると、大雨が降ると行き場を失った雨水によって被害がでたり、溜まった汚水が原因でコレラといった伝染病がはやったりするようになってしまったんだ。

そこで、明治時代に汚水を流すための本格的な下水道が東京の神田地区につくられたんだ。」

たろう 太郎くん：「そうなんです、下水道が今のようにならなければ、各家庭に行きわたるまではどんな状況だったの？」

そのべ 園部さん：「工場などからの汚水が直接、川に流されるなどして、川や海の汚れがひどかったんだ。今では、下水道が整備されて、川もだいぶきれいになったね。」

ちなみに、調布市では、昭和42年度から下水道整備をはじめて、約20年後の昭和62年度にようやく完成したんだ。みんなの生まれる前だね。」



たろう 太郎くん：「そうなんだ。下水道がない生活なんて想像できないね。昔は多摩川も汚れていたんだらうね。」

そのべ 園部さん：「太郎くんのおじいさんやおばあさんは、下水道が整備されていないころの様子を知っているかもしれないね。」

下水道管は地面の下にあるから普段は目につかないよね。夏休みを利用して調べてみたらどうかな。」

いじょう
以上